

四万十の柚子ただ今収穫真っ最中！

清流通信読者の皆様こんにちは！最近、柚子を使った食品や化粧品などの加工品がブームとなっていますが、高知県は馬路村、北川村、香美市物部町など山間部を中心に有数の産地がある全国屈指の柚子王国です。

そして四万十川流域でも以前より柚子の栽培が行われており、現在柚子の収穫の最盛期を迎えています。その流域の中でも四万十市の三ツ又地区では昭和48年頃から地域をあげて柚子の栽培に取り組んで来ました。

柚子玉や柚子酢での出荷はもちろん、柚子ジュースやぼん酢など加工品の生産販売を柚子農家のご婦人達（その名も三ツ又柚子婦人グループ）自ら手作りで行なっています。今年は柚子の表年で昨年を上回る豊作。連日朝早からの収穫と夜遅くまでの選別に追われているとのこと。取材した15日も三ツ又柚子婦人グループ代表者の林さんの柚子畑ではご本人や家族、近所の応援の方を合わせて12名が忙しそうに収穫作業に汗を流していました。

林さんのご主人は「こうやってみんなが来てくれるき（から）収穫ができるので大変ありがたいです。柚子がはやっちゅう（流行っている）のは一時のことかも知らんけど、これからも一生懸命育てて行きたい」とおっしゃっていました。

またこの柚子を使って加工されている商品はすべて当財団が四万十ブランドとして認証しています。中でも柚子を使ったぼん酢は全国誌のマガジンハウス発行「ブルーラス 9月1日号」のお取り寄せグランプリ2007で紹介されて以来全国各地からも注文が少しずつ入るようになったとのこと。



↑ 冬至出荷用の柚子とポン酢→

これから本格的な冬を迎え鍋料理がおいしくなる季節となりますが、四万十川流域で育った柚子をたっぷり使った手作りのぼん酢で水炊き等楽しんでみては如何でしょうか。お問い合わせは三ツ又柚子婦人グループ代表の林浩子さん（TEL0880-39-2308 ※自宅）まで。



ただ今収穫・選別作業の真っ最中ですので電話に出られない場合があるかもしれません。その時はどうかご了承下さい！



↑ 枝いっぱい実った柚子果実



↑ はしごを使って手作業で収穫



↑ すぐにかご一杯になります



↑ 休憩時間は話も弾みます！

トピックス

2007四万十川流域観光物産展を四万十町で開催!!

12月2日（日）10時から今年7月にオープンした道の駅「とおわ」特設会場で四万十川流域観光物産展が開催されます。主催は四万十川流域市町村観光振興連絡会（津野町、梶原町、中土佐町、四万十町、四万十市、(社)四万十町観光協会、(社)四万十市観光協会）。

お茶や椎茸、しし汁にきじ飯、四万十ポーク串焼きや鮎丼、川エビやごりの佃煮などなど、それぞれの流域市町の特産品が勢揃いします。

また先着100名に四万十川ポスターの配布やこじゃんと旨いきじ汁が無料で振る舞われるとのこと！皆さんぜひお越しください！！



↑ 2007四万十川流域観光物産展のチラシ